



Royal Split

「勇敢な行動」と称賛の声 自由の代償やいかに

ハリー王子&メーガン妃 決意の英王室離脱表明の裏側

EU離脱を巡る混乱のさなかにあった今年1月8日、英国王室のヘンリー（ハリー）王子とメーガン妃は王室の「高位王族」の地位から身を引くことをインスタグラムで発表した。エリザベス女王は2人の意思を尊重し、今後夫妻はイギリスと北米（カナダ）を行き来しながら暮らすという。

BrexitになぞらえてMegxitともやゆされる今回の「事件」の裏側、そしてその余波についてCNNが取材した。

本誌ウェブサイトでは、ニュース映像の視聴やボキャピルの音声を聴くことができます。詳細は別冊付録の裏表紙をご覧ください。

マックス・フォスター記者の
発音と話し方の特徴



イギリス英語

速さ: ★★☆☆

発音: ★★☆☆

語彙: ★★☆☆

総合: ★★☆☆

[★聞き取りやすい ↔ ★★☆☆ 難しい]

ほぼ日本人のイメージする「イギリス英語」と言っている発音。滑舌にもイギリス英語らしいキレがある。スピードがあり、belie、steeliness、reign、craveなどボキャブラリーはやや高度なので、歯ごたえのあるレポートとなっている。



キーワード

ニュースを聴く前にチェックしておこう



- the monarchy [ˈmʌnərki] 王室、君主の一族
- abdicate [ˈæbdəˌkeɪt] (義務・地位などを)放棄する、捨てる
- blessing [ˈblɛsɪŋ] 承認、賛成
- belie [bɪˈliː] (感情などを)隠す
- steeliness [ˈstiːliːnəs] 動じないさま、厳格さ
- carve out [kɑːrv] ~を切り開く、努力して作り出す、築く
- progressive [ˈprɒɡrɛsɪv] 進歩的な、革新的な
- crave for [krɛɪv] ~を切望する
- reign [ˈreɪn] (君主などの)治世、在位期間
- the crown [kráʊn] 王権、王位

This was meant to be the slimmed-down monarchy of the future,¹ but this week, it became even slimmer, with Prince Harry effectively abdicating his royal role.²

This is what tourists outside Buckingham Palace had to say about it.

“I think it was brave of them to do. I’m glad they could do that and feel comfortable with themselves and that they have the blessing from Grandma.” (Tourist outside Buckingham Palace)



ハリー王子夫妻が離脱することが決まった英国王室(上)。王子夫妻の決断を勇敢だと称賛する観光客(下の左)

split:
《タイトル》分裂、分かれること

be meant to be:
～になるはずである

the monarchy:

王室、君主の一族

slimmed-down:

規模を縮小した、スリム化された

effectively:

事実上、実質的に

abdicate:

(義務・地位などを)放棄する、捨てる

royal:

王室の、王族の

role:

役割、任務

tourist:

観光客

Buckingham Palace:

バッキンガム宮殿 ▶ロンドンにある英国王室の宮殿。

brave:

勇敢な

be glad (that):

～ということを楽しめる

feel comfortable with oneself:

自分自身に満足する、自分らしくいる

blessing:

承認、賛成

grandma:

= grandmother おばあちゃん ▶この場合、MomやDadのように呼びかけの固有名詞として使われているので、語頭を大文字にしている。

ニュース1では、スラッシュリーディングおよびスラッシュリーディングの参考として、情報・意味のまとまりごとにスラッシュ(/)を入れています

(ご覧の映像に並ぶ)この顔ぶれが将来のスリム化された英国王室となるはずでした/しかし今週、王室はそれよりもさらにスリムになりました/ハリー王子が事実上、王族の務めを放棄したことで。//

それに対して、バッキンガム宮殿周辺の観光客は次のような意見でした。//

「王子夫妻の行動は勇敢だったと思います。//うれしく思いますね/2人があんなことができ、自分らしくいられることを/それに、おばあ様(のエリザベス女王)から賛成してもらえたことを」// (バッキンガム宮殿周辺の観光客)

理解のポイント

≫ ①は前置詞withを使って付帯状況を表している。

≫ ②の主語はThis、述語動詞はis、補語はwhat tourists outside Buckingham Palace had to say about itである。またここでtouristsが複数形なのは、代表としてニュースに登場する人以外にも、同様の意見を述べたtouristが複数人いたからだと考えられる。